遺族に御會釋を賜ふ

の忠霊に御拜

かくて一座下とは印要隊のれ城側に扉を飾らす

名、水藥關係三田根永氏、**交**

機を撃墜破

保育留新吉氏、船負別保寺園

/中央実施者は工業の関係新井 を総督府で決定、天長節の前

各道及交通局に於ては去るこ

郎氏外六名、鑛業關係杉本元

一治が代』を要律に体験前に着

、萬機を御親裁 拜するだに畏き極み

長の佳節、畏くも 天皇陛下には廿九日御目 ある 「東京電話」大東正成皇下三度地へまつ **鬱腐大輔度しく、玉蘭嶺が上げる組度部には、跡を領総師雅はされて帷幄の間只管舗頭跡に出歩く四十三回の御鑑成を選べる支給び、天 御日郡は外許妙なる承獻場に匯海如の御飯 植目 ある** 一種に次極い後ろ大地で、含まには歯可能に指す他へ行動機能が新統領、第20巻の大学である。 などらなどとでうまで対応に、天皇間でには大明、は世分領集・智慧を指する。 一般の別さるを認認し、今期に次極い後の大地で、含まには歯可能に指す他へ行動機能が新統領。 つて歌戦を女人と夢りなことをうまた対応し、天皇間でには大明、は世分領集・領域を制力した。 御日常は外苛烈なる決戦場に塵海空の領政

と、画機能々卻多臘に長らせ給ふが、宮中の一つ可吸もあらせられず、御殿族の御来馬さへ

らせられ一億萬生の感谢これに過ぎるものは、御粉勵、内部後亦子一個を率いさせられ、常

天長節觀兵式へ行幸 の域を整ひ落り、大東砲艇を完勝に巡進、も

・選定を終い親しく昼間積級の総元式を選ばせ・1時十六分減級向中級の選手を進行て式場上祭じた。 「原見電話」大泉地震第十二度地へる天皇の「どらさめい数萬の屋の地兵を輸入都郷兵艦、突角艦所に非って県近衛士の領地資を挙げる住職のサル日娘くも、大元郎館下とおかせら、はられ次いで追加都郷守と郷氏の地域である 大元郎館 下とおかせら、はられ次いで追加都郷守と勝氏が継続してる後、とおいて前年長を皇成恩下の領地資を受ける この日、大元即陛下には確式自動車場がど、死空中大分別式を彫開し、ことに窓地よりな、いが、東集首相は下文党制官と各議総名に対合を部仰を出党された。

この住命を迎へ一様は響しく聖器の周辺と 殿かに天長館祭の御殿を執り行はせられる。昭和十九年天長節樹兵式諸兵を監禁被仰 【原京医路】天長の佳節廿九日宮中におかせ られては、三殿にで三條壁典長以下郷仕して 天長節祭の御儀・ 付

ার্বি

陸軍中將 辰巳 榮一

黃 海 道 日本職業株式電社要

杉本 元吉

鑛業關

平公開道日鴻獅葉株式魚社价

昭和十九年天長衛御兵式踏兵指揮官被仰

今般左の頭り競会せられたり

江原道

製造株式會位三陟工

成鄉伊道 日本經濟肥利株式會

鈴木 米藏

【鬼京電話】陸軍省憂衷(四月廿八日)

午後せられ、ついで宮中正殿において宮内高等官 揮めらせられ、ついで島際殿、神殿にも御殿 の理質を受けさせられる御由に承る、なほ師

関軍大佐 立北 啓二 四里大尉 金子、数3 同 栗城 時男

イスキュリス語 編纂を置共・九月六一段) 航空部院なさる十五日の嫌疑によ

【〇〇芸地廿八日同盟】わが陸軍 建甌を連襲 飛行場爆撃

もつて再度同飛行場を奇壁、熾烈 な地上火器の抵抗を挑して消走路 し廿八日午後一時五十分爆撃隊で 配名建筑池行場の徹底的破路を押

勤勞顯功章受彰者 今や島國隆暦を決すべき貫大一

の決議を強固とし各々の形場にかる秋金動物者は除々動勢時間

地間に西班すべきである

1

タペ附に

近に敵上陸

於て討死するの警悟を以て生産

黃 游 道 日本製製株式質批解 奕 通 局 即縣超岱府交通局元 平安北道 平安北道新露州经林 京畿道東京芝浦電氣株式商 工業關係 金本 大河原正平 田中 智德 新井市五郎 文吉 取額出達 辦經經所為原納山 財務經濟原族株式會社 別政鎮線所為原納山 忠潤北道 慶樂、沃川野世院面)

農林畜水産業關係

彝

飓原

奥山

豐茂 柱化

石九與二郎 黃海道 四美能樂別階集回 金經的這 腰炎(羅州班南平面) 金羅北道 閱譯《盆山班北一面》 思洲南道 魔美、大田府本町一)

敵、損害を發表

附近の我が部隊及航空部隊はこれを邀撃、変戦中なり

及『アイタペ』附近に上陸を開

始し爾後逐次兵力増强中なり、同地

ダン、ピー河中間の歌を監滅して

釋文付絹布表紙角二重綴所本仕立 電船一卷、牽書篇六卷、各条解說 草篇一卷、牽書篇六卷、各条解說 草語一卷、夜書篇六卷、卷卷解說 東京 は を 全十五 卷に收めたる豪華

5共に試験を際所に帰捉して國境

書堂々

宋拓淳化閣帖賈刻本

東西大二・八〇 外二物品限三刺薬税 ▲ 列四 號全十 一 券

の下に四月廿二日早朝より『ニューギニア』島『ホーランデイア』、大学の経験』(昭和九年四月廿日土田卅分)敵は有力なる機動部隊接渡

か所在部隊邀撃交戦中

昭和法帖大系

辻本史呂監輯

全十五卷 賣價

五卷宛三帙

资海 道 漁灣(梁洋郡史南面) 北川 省馬 緒方 民平

* 公に忠敬の上を思召されては決敵下にも揺りなく終り 大元帥陛下には再び自動車層権 られをととけ、然間は背景をならめ「殿湖 一大、巨文的『文大 刀 加美・られをととけ、然間に知ばいらせ、御歌にとなる 郷で親いられたの神がなめらせられ、にて午後三郎十七分式道影像、宮庭に影響の

翻弾車が終の分別によって天長は個兵式は暗

かくて敷目物の散卑部隊の行曲につつき草

諸兵指揮官に

投き個みである

作工場等に存從武官を御差別あらせ給ふ

り一時便用不可能に陥らしめた織一を燃料、全機無事間残した

毛勝伊之

【リスポン廿八日同盟】キャンベ

新吉

寺薗直次郎

員關係

交通局 朝鮮機督府交通局大

中垣 義隆 交通局

際は廿四日反衝駆電部隊は廿二日 右上陸は海道および航空部隊の揺 タペ、ホーランディヤに上座した ラ來電ー西南太平洋反應軸軍司令 の下に行は礼上陸に信り損害を

河である。 四月十七日より廿日までの兩方面目指して懸竹の温度を終けてをり

本道

本書は七百年前宋末に於て賈相珍本書は七百年前宋末に於て賈相珍也を模して日本のにして、一次の完本淳化を黎瑩中が是を模し、一次の完本淳化を黎瑩中が是を模し、一次の完本淳化を黎瑩中が是を模して明祖が、一次の大りのなり。

欧地を頭頭するなど酸散中である一般を加入て米をが捕獲なるわず諸 和中国、自动官事四、小統署一、深设 自助吧一、縣楼五、手 吸激または炎上 極度甲車ル 政に與へたる損害
一千五百

のものな

ダレトメへり 料理が問情が一ケ所 相南方文学

南方文献

日週

火襲機 ヒルマ方面的

返五擊墜

價值及價格研究體驗證 丸谷喜市著 前東京帝大教授、矢內原忠雄著 帝國主義下の 印遍

年前·午後の1回

のた押しに逃降してをり、一方極いは間左尉の液陣を逐次類以して

印度各部隊に対して機を適せず行

と遠くベンカル

キロ)関西のキロに辿り他の各部 一部際はカラダン河左岸に沿って

自衛消防の極意 戰時金融問題一班 一灣 班認

さしめた、わが方の祖宮、晩郷二、

近で日本航空部隊が廿六日アツや近の位置駅東流行場に関して

ーヤ反脳が進司令部は甘七日の公表

日同盟】カンデイ來館=東南アジ
敵側・銭表 「リスボン廿七

身連日旅々たる蔵果を掛けてある

ると共に地上火器 整墜、一機の機関 運搬したわが00 飯ロツキードP

發兌 版 大阪市北望福田新道 大同書院

輸新興木構造學場では、1988年 1988年 198

すると感じて特別放送を行び他に際し時び重要の同胞に響告

民政治宣傳部は廿五日夜『中國の

重慶に警告日間盟國

井上善吉著(外5線 度置)九〇 幾科 外地八〇 改 町 垣 補

關實用機械設計製圖

類性型 取·展開圖法 經過

大阪田門園園被馬澤町、竹原文泉社

* 計せの三条単に基金各級に限も適合せる資例を詳細なる個により不易に説明す。関五〇大組入

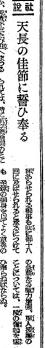
帝國憲法:非常時職大石義業を引驟での ミイド競争・獨占・計畫經濟

高級部級校園本版作著 80% 質問一・大六 日本主義經濟新論

2 BG州 豫江-大〇

東 會社**伊藤銀**三 第 報酬 大阪市東医学楼二丁三十六番地





頭各地の飛行風校、飛行場などに 者があるであらうか。『山や花の 選はさせ給ひ、取らその酸局的物 線以、腸燃煮はやくすり、関欧一種燃に採する大部心にも、常に国、酸を前にして、廿八日三れを振幽側の上に領心を配らを殺ることを、こといかにあるらず』と、現べる。 明鮮における新添り豊穣脈の細側の 色はあらたにみゆれとも我まつり

勉學

身せしかるの方態が成ったわけで、かしたずらその世行の方態におい、は指導的の那該工夫に終ってきる。方針という範疇問題派に誇しても既必帰物語の地蔵、寒間意味には、理を眺めたかった。 の の 実際問題に質問しては風を身 最、動意による整理の方法、内容更に 数語員を中心とする組織を以て成一概を打立て、勤労的教授的訓練のというべきであるが、なほ具態的、よが如き一間悪に上来らず、勤労

かくて問題はこの動は、概と基。間能得との間におけるを盾を縁起。形がその組織力の活用による機動

らぬとも吸らぬ。すなはちこの二、測像上の核心に触れたものといふ

性の競描を要縁してあるのは盛しるが、故範制度に対する再検的は

改権を加ふべき必要があるのであ

墨征動員の質施と同時に必然的に

置一本を命中せしめたり

大破若~は撃沈

つの命題の矛盾調整という数に置べきである。たと既に動員しつと

て一歩線りを水すならは動勢と思のが多々あらうと信ぜられる。

學徒勤勞ご

朝鮮における制徒動員機制の進

研算師四十四点を取ねさせ 統一概倣の場と威強し語ったとこ

こしく順語の関域を唱へ築る。ま 能の上に光被し給ふ終書御明

大谷の世帯にあなり、一般態度な一個動気からせられ、存在政策を置いて示させる。如後に続ける。以子生に助政でなる、興奮に大力地へ共和の領域を対している。

以て、日夜御賦跡に、御政務に必

ろである。なほまた前線将兵の上

神社では午前九時廿

変要種に開扉、大祭神殿が殿か うけつく を採の仏崎に指別、行 分から鈴木宮司以下本殿に勢進 「瞬間に特に芸許され雨具に耐を、せられた これよりさき焼凾・単后陛下の行際を仰ぐ頭なる光 城御出門、韓國神社と行感あら 略式自動車図がにて午前十時宮 静かにごるが如く進む御車の

竹屋御用掛照釈。脱げ皇后宮大國母陛下の御姿を眼の繰りに拝 して造族の群れは思けず節を転順路宮成に選択めらせられた 差しで、一々御豊穣を明る神々

して、陸下の御客をお待ち申上、最后壁下にはこの日郷白の御年、推しで、一々師會顧を明な神々に逃行はれて時報して起間を突、眺をお待ち申上げる理に捉くる。徳に始る人やうな御経験の御殿

けたが辨例の社団は神氣一人衆と助一等物台質問意を相似用

く、在京の激素をはさきに

大島陸下の御跳飛を、けるまた一夫、徳川行啓主務官以予供奉の

をはじめ原調の忠康に親しく領拝あらせられた 【現京衛話】 畏くも 島后陛下には廿八日崎國神社に行啓あらせられ、新祭神二周五柱

第二回勤勞顯功章

るで臨門な緑亜雄比な観圧式は皇軍の販浴を・し午前九時から午後四時までの間に夢賀を差

ける晴れの授與式擧行 央表彰廿名 ることと相成つたのである

に祉神國靖・下陸后皇

に対しその助労に張ゆるべく生命

配質ルナ名にも強したのである。

ので あつて本表形と 浴する

派を捧げてるる歴度動勢戦

ン決戦下生産増殖の職場に産



●○○戦線にて=駆殺闘 し、一方四〇五七高地(インベー (四〇五七高地東北四キロ)にハ 東北十四キロ)四〇六六高地 南學 利 指國 新 子 子 安 的 地域は

院し、對共盛職打倒と共同戦級 に瀕してゐる、用級於國家民族 の運命を思ふならば、英米より と照開した

あつた地万製影受章者に村、殿一 は深く感銘すべきであると子ず一 しては全勤労者の榮誉でめつて

歌解を娯解した、すなはらその一 〇四の敵陣地に進攻、必殺の命中 を占領 四〇八〇高地

能空、数とし來れるスピットファ

一山戦後と続いる空中戦を

動する酸の反撃はますく
執拗さ 华丽

成に御建めらせられた 終て響る御玉串を御手にとらせ に進御、御秤座に就かせられ、 られ、御手水、御修成の御のち、 郷大臣の優にて散所へ進ませ 鈴木富司の御先祭にて本殿 総管外多数の來習臨 陷和十七年九月動

すると共に敵航空部隊に對し次の戦果を收めたり 墜 輸送機士二機 (內不確 質四機)戦闘機十一機一・我方の損害・自爆未帰還各一機 及廿六日の兩日インバール附近に於ける地上戰鬪に協力

撃破

大本管要表(昭和九年間は八日古四世二大)新甸方面の我が航空部隊は

質四級)を撃墜して基地に凱歌をこれを攻撃、その士二級(内不暇

でした、わが方の指書、未開発一機

南州と北側の城田是風地を経営、

前後して数割せる他の一院は〇〇 爆殺大火災を生ぜしめ、これに相

> の樹鋭はウクルル街道西 気甘七日役】わが日間旬 「印度前海長谷川報道班

り十五個、十個、追問砲火を場中

を加へ廿五日には東西南の三方よ

果敢なる絵画下燃塵を反復して同

陸鷲二日間の戦果

ルーパンイ

を展出更に同方面を航行中のダグ 展開し、その一概を映画してこれ

脳を投下してこれを火網に開起、

に他の一瞬はブラバザーに設到、車場ならびに附近施設を爆略、雨 に進攻、敵對空火網を置して同僚 火網をもつて同北岸車場および附 日夕狐大概出撃、インバール目沿 関止すべく頑弱に抵抗中の〇〇や「無事影響した 【ビルマ〇〇 孤地廿七日同盟】 ビ して禁風のわが地上部隊の進回を 敵陣を爆碎 廿四日五機屠る 航空部院補飲は廿四

際時にしてカーテス、ホークド40 型一種(内不能性一機)ダグラス

からに関抗の途大阪機能と気は、 三ケ所を炎上せしめ

日の聖殿を歌われ方家

いて概と相對し微觀を練退してを選を挟んで五キロの至近眼睛にお

を認河、敵の側背を衒く「ン河谷方面でも日一部をもつてマユ河」つむるが、こ

ロンを帰した、頭板に対しせ一 日夜場を決行、敵約五百を治滅せ しめてこれを完全に点倒した 現在わが新船部隊はウクルル街 での記録をある。 後イリル河谷を北上、四 國境目指し急進 【印練前線00村川報道 | と共に関下 方面のわが部隊は去る十 賞廿六日報】プチドン

敵失、三日間に千五百

〇〇方頃に

回のわが精鋭部隊はカラダー これに呼吸するカラダー これに呼吸するカラダー

九日原城を宮南北、原南に出張す 四日学州、松江里、周里、全州 泊、广日全桥、初里、大田 祭)《六日全桥、初里、大田 九日大田(城山、工場高寨)《 八日阁柱 ▲三百米州(郡守鶴縣出席)▲ 郡天、劉水泊▲一日殿山、野州昭城)約海泊▲一日殿山、野州縣政)約海泊▲一日馬山、野州縣政) 山(昌原郷殿にて勢移動的以情け九日京城峡▲廿日三浪津、馬

派典を従く金融業に従事する ルマ方面陸重航空部隊の稍級はマ 【ビルマ〇〇基地廿七日同盟】ビ | 連合の大編吹をもつて駆後万余差 後方基地を猛爆

基地たるハイラカンア、ララバザ

分階段整治理に同時此何故、沿

かる。壁では年即十時廿

物能の球形の身際語の観点と噂と「関連に立即して現象なる意識顕然、示してある。もちらな然の指標、ある。外親ひと知動など動物と手続きている時出動の態勢でその知識しておする事を一貫せる元は一郎の「関節首するにほる大阪の方向を る意気に発する事態と大いる関係が 需要なる週間と加限と重工器と「転の振響に続力、甘五日子町販療」の言語を置いてハイラガンテーへれば、わず販量験を向方面を即ち本表彰に到了生産問題の「ニブール平原におけるわか地上部」1万回に出転、他の一味は魅れる「腰部設を完全に破壊、大胆器を映かれる世界に対しています。 療法動員の目的はいふまでもな」よる深層の幾定及人員の制度など一勢、動き全属徒全帯の試験に對す 示してゐる。もとより恍然の指標ある。勿歸ひとり動むと試験とい

格の音楽を持りれば半島全事徒を

大本管鉄表(四和十九年四月廿八日十四時)我が潜水艦は四月十六日「マー) 東方海面のが潜水艦活躍

敵大型空母を雷撃

も命中せしめたことはわが無数減 領派組将兵の烈々たる副魂を如政 に物語るものであり、その苦酪敢

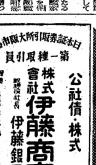
を探げればならない

九日寧北へ 一日 高城後定

交店新設披縛のため卅日大田へ交店新設披縛のため卅日大田へ

消

息



アメリカ海運の經濟的調査

人工問題

(正月中旬競技) 株式 恰

させられ、就中護域の鬼と化したけるの住会日にめぐりあへるわれ 等、ひたすらに、収版に明ひ奉ら のために延標を概率せ給ふ有限さずべき原性機管府保証動員本部別、他によって最能を如何にして動勢して、所機和解とようの結果とな を感得し率らずにはあられない。 今や成局無人苛烈の秋、迎へて 定及び最補助員官補契制による限に実際従事せしめ、しかも組織の 同時に各別校長知じその訓令通深 が競せられた。原能動員に関する

別力を以下せしめることなく、そ

何にして近極なからしめるかとい、はならない。動質基準は影響及及して、差し皆つて機様される問題に の本來の頃命たる原間の辨實に如一行上の最大視點があるとを忘れてある内地累種の實情などから疑し

して安心して勤勢に徹せしめるべ 質局はこの級の新 しき指述につい

ても迷惑に具態素を樹て、別徒を

歌陣を祈いてあるわが所在部隊な | 二型を指揮してその一個に意識攻

らびに航空部隊に呼吸して砂形を一般を放行、見事これに一本の危害 ける権の執拗な審動に対し縁権の一シャル諸島東方洋上に和大型宗母 【東京電話】中部大平洋方面にお | 帝國潛水域は四月十八日白道マー

殊に、大田聖殿争別及以来は、



高資を勘案して質出する 題に茲く生産額足領其の他必要 に設定し其の吸引は物質動質計

一芸華生産がは原則として性酸類及第二式単生産前に二分し第 生蔵が進団は之を第一為地生産

> ほが脆励金の四十個が附加され、 入價格石質り四十七圓と現在交付 た生産者の手取を見れば政府の貿

以内の俄出分については亘一個五 九十パーセント以上百パーセント

すべき現域を述べ勘察とした

私立校整備定員

文科系大學專門、理科系專門

同志証

ď

【備考」同志配外領導門學校一

獲得のため日比の提携を窓々曜化これに對し東條首相は景後のベ利

競談に先立ちフォン・パーベンズ

最大の新聞ラ・プレンナ紙は甘七 ノスアイレス來電ーアルゼンテン

部国際が出動した、ワシントン氣

(九州東門及編岡高等商業) ▽ 商業) ▽九州経済東門=一五〇

川飛行機、殿岡飛行機、牟田段(協力工場、試験研究所など立)の

工所、問組)以下括肌内同様

工業場門島极而突殺科

「ソスポンニ大日同盟」プニ

水深は一盟要へず、廿七日発に中を水深しにしたが、別家諸利川の

にすでに五十四ニーカーの機動地 米國中部一帶の大洪水は場在まで

が、完全に意見一致した、西南

亞國有力新聞發禁

につき緊明を發する豫定であるが 省は甘七日トルコのクローム転除

勝利の日まで日本に過到的協力の

向ったと解へられる、ドイツ外勤後、特別仕立飛行機でベルリンに ネメンジョグル氏と曾談を添げた フォン・パーベン氏は甘七日イス

以放める 国を 強調する 挨拶を 逃

鐵鋼及鐵鑛石

変取入れたもので生産ならびに供 新制度は全面的に紫環院側の要望

を求め同四時廿分肢質 につき五島運通相より報告、朦黙

彈

幕

した模様である

日五日間の書行際上級から附され、窓間の記号では名がにわたる傾隔と、同様に現火窓的母祭が奏く、のためで「暗線作は三雲間も並れを、同様には一葉間を近くとと、てるさいてれる

土、棉花等を禁輸

便を招致、度情を意取するに決定

供出努力に對しては漢願金および 出の創管については植付剤に漆落

の アキノ大使 「原原窓」 おいまな 一切 おんしゅう アキノ大使 「原原窓」

フォン・パーペン氏は甘七日イス、総令を公布したフィン・パーペン氏は甘七日次のブール来解に上乳は、ドイツ大便、来館=トルコ外部省は甘七日次の

【ベルリン廿七日同盟】イスタン

【ベルリン廿七日同盟】 アンカラ めである

獨駐土大使伯林へ

常國ホテルに於て東條首相以下日

タンプールに到着、トルコ外相メ

許可しない、禁輸令は即日奪施は外務省の特別許可のない限り 今後福花ならびに皮革類の輸出

リノイその他諸河川の氾濫により

とは 甘六日後ラジオ放送を行ひ、

念は最近ルーズベルトと今次大

ン孫四十部米中の領洲首相カーラ

【リスポン廿七日問題】 ワシント

濠首相カーチン放送

ロイター管報によればに命ギリシ

ギリシヤ内閣更迭

氏の海外派過を否認する活案を可

【ベルリン廿七日同盟】シカゴ來

米中部一帶大洪水

比別係者の午餐習を開催、席上ア

鞍蜒金や国家から変付するの大英 を到該としてこれを行ひ、庭家の

トリー百パーセントを供出し

報院制を整備石及び普通銃戦略に整然が四対策要柄に基く特別関格 つたので際番所では内地に順應し としてその意能が極めて重要とな でした、本制度は十八年度下半期 法談とし、十九年度は生産政会 温明について近施するととし、 別項の如く賦工局長説を競 はいずと感わる場合 しく低下した場合 る場合 二、巍鑛石 (二)生産品の規格又は材質を著 文は次期に於ける波薩を顧問せ 数を超えて地産を終行したるも

定様の樹定瞬合とし第二基準生産情の樹定瞬合とし、第一及の第一動自計特別別とし、第一及の第一型。

ーセント以上を供出した場合の生

動石ならびに網の地蔵に拍車をか 響なる場合は右報眺を行ひ、 ようとするものである 一本雄とし、後着に於ても増展 定量超過に報獎

米穀增産供出變勵特別措置

れて格を告示したが、儒米に付て 昭和十九年産米に對する標準買入

湧り

理科系型円墨校名治よび定員次の 立文科系的。國後名及び新設私立 領』に基書整備された私立大母女

10

四〇〈大東文化學院〉〉

計製製工製料

製架工業科 五〇 製工業科 五〇

東門類似 機 楸 科工城院工業機 楸 科

化學工語科 一海空機科

PART TO THE PART

100

つき刺繍を終て古八日左の如く後

に過ぎないが貿方の手詰めは物目軟化が、陰地路内による小洋助

合した、よって別任侍遇市長は全 のとして部合八市長の勅任待談と 願の五円長は、(二) に感覚するも 塚、千葉、四日市、岐阜および下

計機被料

五五

馴▲歳間投手

場 (F1-F) 裏網膜のた

大阪木野海船)

(朝湯鎖工所、日本小型航空府

(三四航空機、大臣本紡績大喧工場

「原京電話」展覧者では廿八附で

標準買入價格

は従來禅米に比して一部高のとこ

私立大學文科系學

Σ IE 國科 100]

1000000

▽日本間資度門=男」五〇、女

東門 四級 地區縣 西科斯科

8

機機

科記

汕、昭和石油、丸霽石油、三菱石

直面單門 型板 大松 里西科 1100 門 珍如城市

樂門學校 石油科 100

是 所 即 所 即 的 大

100 羅莉 100

8 8 8

企業に國家性

老

中野友禮氏、

鮮乃重工業に檄

歴ナ繁変での機質な電力、電要
 のだ、この機械工製が化場工等
 でも然りだ、従うて朝鮮の単化
 でも然りだ、従うて朝鮮の単化
 でも然りだ。この機械工製が化器工業

れて不來の旋展を窓げるには留地下資源、勢力薬に組織づけら

外務解令(廿八日)

面機械工罐、碳に荷密機械工能

(命ソビエート職邦在動 怪約局第一課長 松

登盤

語および裏門語

11) 強材その他の関係でこれ

算出方法 法華生遊母は六月毎(二) 派準生遊園の決定及報竣金

の改訂を行ふ

とり生産光準環が著しく不適密 とり生産光準環が著しく不適密 とり生産光準環が著しく不適密

糯米は引下げ 21 | 亘 | 阿五十銭といる牧頭米町

料系學部及び東門部入品定員、私

開西學院・八〇・ナシ

門題被=100(同志批響門) 外國路)又東洋路魯第門三

00、同意前經濟等門經校二五

関するわけである

するが物助計費の改訂其の他管のに付夫々特定の報獎金を交付

概念が加はり超過分については質 確着手取はさらにこれに百回の報 十銭の定置が質現し、さらに百べ

非常措置方策に基く墨複整備型「見京佐衛」「数章に脚する厳時

第一、方針大型の戦争の 「東京党語」政府は十八日の京院 如の光足を次からに選金を削す 「関連に「天然の治理などればはの 「関連に「天然の治理などればはの 第二十、要領 親の神时的に 第二十、要領 親の神时的に 第二十、要領 親の神时的に 第二十、要領 親の神时的に 及び作出駆断に属する特別措置 情報局競表米殿の増置

八日の定院機能は午後一届より

米級の地震および供出援動に開

中央

修 1六0 夜間1六0

部落内各戸の共同責任をもつて

定例閣議(惠京信告)廿

治本

00 E

夜間五五〇 夜間三五〇

する御給金は本年も引つメミ炎付石営り十五國五十歳の生産者に對 ろこれを五分高に引下げた、なほ

早間の

照 至 谷

び供出に約する熱意を一層昂揚 かつ郷土食の動行に済する 累進的に高額 大臣賞を授與する 獎勵、報獎金

れを決定、ついで東京都長官より

に石波域相よりこれに関する神足

函 包

100

東京都警軌道營業路線の休止お

産は至上の國家安制をる成路和戦時下戦闘の急速且大策なる地 鑛工局長談 **心热含含股昭和十八年度下**

適用の対象生態命令又は

側甲、厚板、其の他の飼材) る音道銃線並に音道論(歴史用 技術向上に全力

ふ、南方に北海に思聞苦悶する勇

一ても相管苦しいことはよく診察し

て研究してあたもので、暗点がど、成る必要とも子自ちに技術員としての衆の意味から我々はその利用につい、る、このやうに工場員としての衆

生木仙袋科 1五0

斡旋された結果比較的順関に行ってあるが、この影響官方面も和人

ものではないだけに、我々の技術

ての技術習得に連進することの出

來るのはるきに述べた、時の問題

も光分目信をもつてある は泥鰌式ではない、この脳をけで

に関聯して非常に有難いとと思っ

てゐる、かうして技術を得た半郎

工員が工場に通って指導的の役割

企業の在り方

考へられる、從つて物動の取決

の首集には脈形を辿くものがある

党店長には成潔鑑三氏が一円から登録を開始する一日から登録を開始する

かうまで微細な物助の取決めで

努力が必要である

つ客に勞務の問題についていふと

を携ふことになるのであるから、

内地で工員再教育

てあるのである。この第十の心に 士は皆この言時を問む給に努力し

報疑金の交付につ会通官調整を更改するの外、次の様な場合は一連条件の機更の程度に限じ之を 場的に之を質定する、

を質出する、報奬企は右の に設定し命令文は指示した 登出方法 基準生態関は六日

がら思ふやうに行っ 地に比べて関係側が 現狀である、然も内 半島工業の歴史が新 てゐないといるのが

カ、黝彩をピッグネの工事祭中が、うち私は既が接る事大であると思っ、レかし明確はなるといっても、今日よくいはかる戦・衆・時のついとととと認及してあるといく、大つ『時』を移げ

からの話文を受ける態作工場とし

とがよく物る、たとへは間別を敬

引込めるかの問題となってゐるふ形で『自由』の影響板をどう

の不安のために浮足がたち始め

第一に考へられることは戦い

ず紹んで慰後のをめの舒威順保工 十四、五年である』といる理由の 一百億パレルの石油の配脈はあとこの翻子で採油して行けば埋骸団

作を開始してあるのである の野鼠を反映するものであるが、 これは織的にアメリカ帝國主政 米帝國主義の野望 世界征服慾露骨化

あることが明瞭となる、最近海山

敵米、石油

の眞相

かを持へて見よう

上まった場合一般とうなるかとい た生頭に対して取解がピツタリと 品である、ところでかくも顕張し いはれるが、勿縁その大学は世帯 変類に置に

一千八日

原剤に置に

一千八日

原弗に上ると

「威後の武力支配計器」を表に出

等がその本性を経済するに至つた

知一歩を物語るものだらろ、しか から『國際配案版章』への移行の

五十四及び場状の他の海迫力をリカは空軍二萬五十、陸東二百リカは空軍二萬五十、陸東二百五十、陸東二百

面の石油不足が大きな理由である 始起である。
れは世紀の「世界の武力的で配」 中に次のやうな文句がある 次買フォレスタルが行つを演説の

と「現在の日産網に四百萬ペレル」の地方しい、内相イツキーズによる

せてある。それは簡潔な石油のピアメリカ海豚は軍大脚心を沿

る的船前に航空兵力である 脳に 対ものはアメリカ海軍の領大な 脱に

E STATE STATE OF STAT

支配』の別機が『自由』の看板

れて損害つて死を小闘や亡命政板を引き外しその金滑板に釣ら

ではいるとはいるだめ

維持すべとなしてある。一致カ

つたからだ、**そして自由の金**看中立の同間を買ふ必要がなくな 第一に考へられるのは戦局が相

アメリカでは資本家との間にこれ ふ不安が昨年春頃から米英の政策

以上の生産機場に反動する繁光が

放映する、同時にそれは本来の前 る、
有大な豆喘を戦後に
権持する し、一部で行に移し始めたのであ 金融の要様くしまひ込んであた な『殿局の困難』を宣傳する一方は大いに帰てて取って付けたやう

ことに取も回る子脈解の氷線件を

起り、中にはそうく、軍器主義の、國王義的理論を乗る元等の場場す

家を行ひ六時世分復度は古民に人

多田目長の案内で三時間に見り査 十五分酸水坦南省、阿川坦南县、 班田口技師一行士三名は本府等の 【晚水位話】山上行政在然但第二

が今日の経験を見たのは機械工

でも人選については内観器に於て

【東京医話】五大都市以外の市長

心、たい気を嵌へ、わが身を斬ら

9000

除

芸長 電

飯後 金融にかくはるものだ、四

きのふ發令

一例を上げると頻適の化弱工業いと、健全な経験は押し得ない

が、それよりも一十四、五年に起

際何が原因でかういる。そ

らも大喧嘩変で徹起し、この頃で 出となり、またイギリス

ランなどの政治經濟的進 いてサウジ、イラク、イ

會で大脳争がはじまり踏 間路で大騒ぎを演じてあ 高だつたアメリカが石油 昨年のほどろから話

田 ーとれはアメリカ石油国際の資相 ーとれはアメリカ石油国際の資相

武力による遅付けがなかつたため だった。となし來るべき最後の秩

ボーランド問題の上ごも、中工図図近郊後の上ごも、中工図

彼等の「自由」既認思想は以い

俄然獸性を暴露 のである

事ださずためには最早や『武力

あるが、これこそ『大西洋観覚』

メリカは極端な単常生産の捕張を

要が一種とういないには何する

間の部方な指導機関をらしめる

攻略戦線を細少しチアスポリチ叉ドニエストル下流でも赤単な

確立せしめて行政機構と製取

魔水港を査察

查察使第二班

の調整 重化學工業相互問

版級の主型破級となつた

一多といひ、質別勝員の心で深い らの単雄を受ける方では製口同智 数はこつになる▲ところで、これ

た製製してあるのに対し、 製製機

康は無形の

軍備

錠

次料は古いもので間に合せ んして貯蓄を積やしませり **売谷料は菜群クリームーつ**

是正さればならぬ、元來化級工 は他めて殴行的だからこの點を切解の事化処工薬疾に化痰工薬

八市長勅待

なくはない▲これは、戦に製御動なくはない▲これは、戦に製御動ないはなが

かうした類似が選集した場合米 武力支配を開始

かはいふきでもない、そこで政府

今次大阪を通じて米英、味にア がなくなつたことだ

減出したのである

ら半和酸学と戦場せんとする者が

の新観由を地形像に改造し、理

向つてドイツ軍陣地を突破しよ兵力をもつて攻略を開始阻方に

執って組つた処民についる賊力増 徒働員本部が確立され、既に銃を

計必

豫勝

算家

ことしたが、ドイツ里およびル

める者と随る者が一種になった時

政治では技術の時代と生

選の士を任命し、指導治原明を期長には企業的経験の服务な様

盟の失敗の原因を願じて「それは

であるが、これは日産箱の限形で を維持するための関係が同のは「であり、発信して知然上の不自由」ということを主張する。世界が和 一これはアメリカ石油四層の資格 を旅球としてはアメリカが再び 組少は世界・正服の原相を告目してあるのであった。 石油湾関盟とない、た。 18 間して石油管源を唱ちに使用し 放軍の耐燥に喧団する場合を将

見て一番石油電源が製

アルミに比べてマグー非常に 世いので あるから一部の かったい でもがない 関いのでものでない とがいったければなつめ、 れいこういては現在側面のをがいませんがないの。 れいこういては現在側面のを放いませんが、 これについては現在側面のを放いません。 が充分での能

習暖暖 磯部愉一郎 加へる途は皆々節後がこの間里な

未完成組も一郷も早く際品を出す カを競響する。早れくの何客

血剤によって獲得された。同じを

先づ『時』を稼げ

域に遵することが散物である

また有効に指かすことであると信 早く命令されたものを生物するこ り酸粉であると思か、ところでそとがわれくの軍大なる世級であ ばかりでなく期間内に一時間でも 間内に命令されたものを完成する てある、管材の入手離はいはゆる

おはならぬが、それについては質が、器は窓の際時があった、生産 の御支援をお願ひするに止める、 てあるから今後なほ一層軍官方面 が、足らないながらも何とか行つ 無い純を振るやうなものではない

究成する後りである、技術の點に いので限ると任せない貼もあっただが土建工事において冬季中は思

一ついては我々は溺々さる冒傷をも一技縁の再級情を置してあるが、とってもる、大陸爆奏工製佐町性町 の非明潔の非常にが誤を現けしってもその規 かる智がとしてをその規 かる目がであったが、そ 一部の 正しるに嫌いてある がであ 窓際院は他で事前に領成したもの 展験が一下場で五十名一組にして それを連に姉妹曾社の関東哲化学

ようが、今後とも従前の如き交換 その拡私の工場では些かの心配も 電しきを得ねば

取る意味であらる に冒民一覧域に削縮は洋々たるも を殴ければ影路は影路でなく、質 ない、これを要すると軍官の指導

では、一般の外部監測を制能と解立するを一般の外部監測を制能はつめ、以て諸国一 れ始めた、この類単は労働者や一 の中核的指数関係る工業組合と 側の進塩機化と伴って、中小工業一般から貴林の角は、生産関格の有 生産性の所揚を目途とする經派統一統制經濟の過度期に組成された間 際要とするが、現在の工業組合は 失識を信し、巡阜へ取締悪が 般状態員の凹にも現はれて収役の 対な指定など職者の利益機能と統一地で関係し、悪気間位の的場合地 ることくなり機能を進めてある

公共性强化具體策進む があため工業相合を改造制化す 明念に関して西班の公共用を向 强いので、機能局では会話成先の 処し、生産が限の強力は一致たら ないとの印象を受けてゐる、抑物的は内地と比べて國家性が企 理と一歩進んで國家性を全面的 一張時代に於ては利衡場で

質量的は東部散級の成分につき甘 南部戦線の赤軍 国民共に劣むべきであらう に一任し、朝鮮の特殊的質問に 攻擊重點移動 ▲この至国、まざに今日の我等が

南部地區の赤軍は廿七日その攻 関と外ならぬ。國民会職のつら一 野込むのは、叩ち、國力を除け盛 装飾りの生活をついけ伝ら、陶だ 際用と常語とを指示したものとい ひはかくらない。食が半過ごらぬ があったら、概を二つこする気合 して大阪出版銀に一 けを吸えるせることは出来ない相 ってよい。まったく自分達に平 影▲我身一つになるところまで

也会只有不是一种的, 是是不是不是一种的, 是是不是一种的, 0 クキクヨにズマシ 株式會社

業組合を改造

境間に占める比重は極めて大で、一般のであることはいるまでもないが、味じ物力増開物質の生産、現じてあることはいるまでもないが、味じ物力増開と関係が重くなどのできない。 るに過ぎたい朝鮮も鼠絲魔線のわが國紀人口の四分の一を占め 朝鮮産業の使命大

を払うて腕の努力と同等に頭のを掴ふ朝鮮としては重官民一層 い問題である。かくる軍大使命監的題の實践を置かざるを損な 刀などを考慮して衝突網線に出産条件、過 影綱智と必要だ、現在戦

> 性を振興せしめるためには、朝 共に、その疑蔑は期して俟つべ ればこれを意図と挑批するとが

金銭のないは最ものうと 脚的局勤務▲数信贷記 木原相哲手 松瀬稔 任本时技師(七)命

時から理事行を開催、 肯廿日ごろ硫代南を招集 独定する

鮮銀大田支店開設

適 應症 個な血は数打凝や み やれちりに 自自自自自自自

■100(大島高等商業)>基務 審演區門100=(集務遊停路 業)>国院武監察區門 1五0 (国院武高等商業)>於山監察區 門上100(於山)屬印山南高等 高干糖経濟量門=五〇(私立高 文科系專門學校 新 IIIIIIIO 耐五九八〇 近域 総科域銀停止、専門部を 対流場門 風校と取構 四五〇 立希館 東門風校へ轉向、立布 観路 風妙と安排 3科の人思議第停止、 拓殖大塚 100(なし) 夕明治感院専門一五0(なし) 夕國土頭は門= 東部 國際 原料 150 理科系專門學校 稱昭科入學定員 工業機器科100工業機器科100工業機器科100工業機器科100工業機器科100工業機器科100工業機器科100工

工業場門島心航空機科 芸芸 8

電池、松下覧窓査製) (島津飯作所、京都技術科學館 西西西 HO 日本

能力がて次の如く肺る【質常―中 触力能化學工業の方前及び傾命等 の企場理念と企業形態の在り方、 監中野友施氏は、「敷原下 の生産対限と 解內里爾藍紫 てある。しかし城ガ増間に大な比重では一分の一の使命を掘づ る貢献をなして死たとはいへ

に軍締品の飛躍的地震を取問さ れてある合日、朝鮮の産業経済 物動計畫と資材手當 の分野を意思し打用さればな

(五)命度時間前務人(園園)技体驗溫技師 荒場職 任本府技師 : 一. 概整 任本府技師 : 任外務職配官(四)命條約局類外別為務官 外额治验官

社組合だより 小賣商組理事會

◆翻蹬 区 期取引 ◆翻蹬 区 期取引 雷西ク

國を通じ工三名となつた (c) 螺纹滤筒 不多性(h) 使到 (c) 医复数形式 (c) 医腹泻 (c) E (南部議員會 後挺會訴 京城管防後接 原城縣防

十八年度事業報告についで 語計算品に接続家を マ小龍銘

たほ源生産協議計様の中で元月から七月までの期間と新規管員から七月までの期間と新規管員が、普通書館は三別教立士管以が、普通書間に対象を大し時別官は「計算問目は全要などし、「有機間に加入などとののことと

の地各国全 クッラド田有

田有 ツフ 橋 齊 心 橋 本 日 阪大

海門學院 優 村 村 村 村 構ならびに補給においてまずま 開において素がは反覆崩軍の慶 軍工第日東地震、鹽汀洲置盜經 **然諸工場)** 計造

松下處、松下

四景の原動的多級をもつてカナダ レイが侵線内部の組織を依職さる ペツク州経営は廿七日五十五宗劉 同盟)ケベツク死電=カナダのケ 海外派兵反對ンサロ カナダ州議會「リスポ 通り回明したと係へられる

ヤ政権の首相ベニゼロスはギリシ 例か十日で更迭した結果パパンド や匿の振乱事件の資を負ひ誤閱後。追を加へてゐるが、ロンドン來記 六日下院の質問時間に際し、次の によれば、英國外相イーデンは古

の民間技能代表としてハワイに到 同盟」資珠が条他によればリンド ハワイに飛ぶっとは日 政府しの間に変形が遊りられて リンドバーク

けウオルフラム頻畅出を落止め明確に指摘した、特にドイツ向 る目的のもとに目下ボルトガル 助政授 石 七) 愈金州製造品 任奕瑭局稱領官

大四正一 鄉大田伽迎教 「投師 武内陽好 任大郎 「投師 武内陽好 任大郎 「大四正」 師 五点 医双唇皮 医双唇皮 七)命第三型務境傾割田紋数(任逆務機傾割)陸軍兵心阿洛凱線所 (六) 命平國暴貿局在(六) 命平國暴貿局在 所 (市) (日次日) (日末日) (日末日 器

0

疲頭胃 療痛に にに

英雨園は須りに中立各園に対し起 するのは信然の撤利なることを して英國政府がこの要求を提出の輸出禁止を認識し、同盟國と し通牒をもつてドイツ向け一切の単純まで専事数がごってられば英国政府にボルトガル政権に選っ替したといはれる、リンドパーク ボルトガルに重整 門路被 間波長祭科 100人先山道 多層研究所) T)學校 地域科學 管波氏管科 四〇〇 地址工學 で 表型として 整節の 意思 園・園・ するためとはへられる の関節は大西洋療派におりる公軍 市に永年在郷し、目つ功治ある、大部市に一定の規模を有する 市長をること

◆撤用工場鐵川を限る<</p>

亜東 薬要の

る地域時機は大空狭し 十一時期りなく式戦を 森地尉の操縦す その前、間の

李長皇先間の関めで「女」 零年前 百四等

怒ろな御言葉を賜ふ 飛行學校教育隊記念式

心臓の大学を読みだい 一版と監察で属の決意

の機器で高級を輩唱同

問題の少年をおの間間を一気に握 がありくと見える、経験飛行は る頭上すれくに飛翔する度に り生徒が飛行場の一隅に呼取って アツーくと騒略があがる、 る、陸続と生が流戦、反戦、 した少年飛行兵の爆撃をる国家

を解は世現をゆすぶつた おけつくやうに《大空への挺身》 って朔さに柳き立つた、この日こ

受刑者に畏き思召し

の会中版十七十大機像像(A)子を取りものを推成が、 を無い関助を関いてよりめて調(やを指揮)て を表い関助を関いてよりめて調(やを指揮)で の気度がある。この点間(の気度がある)の気度がある。

役を指揮してある

S.

國是を完盛し、一人一人が

總督、軍司令官、半島雛鷲を激勵

心た、私も質で大正八年

少いのにもかくはらず、

い言第一線では飛行機の数の

際が開む、初刊と記念式にく解

類も後から織くのだ々と概る概を **型えて多数の中等風校、國民風校** 5時代で、一日も早く進步を明 後として 歴労強則たる

> 機の製作もまた語々進捗しつく 新機域も

> 逐日

> 多きへ加へ

> ・

> 短用

おばならぬと聞く思ふのであ

れたが、席上小磯絶将が願つた少 職衆をおは感父の信に感 につとめたのであったが、 ・

間、関係その他の歌型などにあつて伝統質式を

聖器の無窮をことほぐ天長節御兵式は午前十時 行うて盟就完遂の決意を一階間あるのである一方子前八時甘分、小路総督ら臨境の朝鮮神一方子前八時甘分、小路総督ら臨境の朝鮮神

 阿容を中外に潜示する
 日ごろ鰥武の成果を認証して世界無比、皇軍の
 日ごろ鰥武の成果を認証して世界無比、皇軍の かれることなく、防災器杯の後降路板や飲成にすれ日の脱日、世日の日職に渡山物見の花に浮 これに併行して一般家庭でも到人も折枘ついく 吹鈴く半島をあげて、この日雄壯なるかずく

総々響ひたら何がいま聞起となって春季空襲を

狙ふわが國土の防衛に線壁の順を期するのだ と上昇して死てゐる、敷のみなが國の飛行機生產曲線は日一日

飛行兵のことに及んだ、江原隊長をが、陝たまく朝鮮田身の少年

うだ、中間影響の省のためにも「難歌の歌に傾りない面目を表していたが、伽藍はど」ります。とめとは喉をつまらせ、物にはいいたが、伽藍はど」ります。とめとは喉をつまらせ、光生しょとです。

努力今ぞ酬

民間功勞者、勤續警察職員表彰

國文 [忠地] 巡查部兵權村倫三 [金團] 巡查三元唯作 [金團] 巡查三元唯作

田政領▲四金超秀長▲同槽山城上開門」道軍城中國米太◆巡查武

るものがある、亦永年勤盟者と

聽く增產敢鬪 一同の別距ナ行とを希望する

に呼吸して名女子中豊穣校を中心 間は自発示しい、生場でもこれ 際地に、工場に内地女子能以験の

きのふ結成式

を総数、関査、管理の三

國防献金 【學記】

二十七日扱

是**工。**

四二万万四三人 上野元一郎 十個中區岩市町一四上田友級全首

女性毎月からず

文報改組 屋蓋

省附金 一 一 八 巨 廿 四 関 八 士 五 載

変響得する

三菱【飛行菱脈約其金】七萬一千

競音では今回四部間の

全官が並び近隣少野が対席してる

の水河正明上等兵の二人がある、

 **明算
 図** 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日

意は二人を自席に呼び答せ、歌融一司令

の超級は開始に感激の説すら学べ

八生の大半を傾倒した人々でき

影補神を閉勘しようと、授與式に

等し、式は正午終了した。一次時のの群を受け、除替代では、野村原校大長からて長、野村原校大長からて

■▲二十関無山區言野町二ノ一〇里朝鮮場市府交通局金村場々員一里朝鮮場市府交通局金村場々員一

軍人援護會寄附金

かくして厥皇一百世名は一班に分

|探野務二〇日計||千五十九四月

皮膚 淡原 性 病科 医学博士 金林皇煥 (#Y@[55])

第一年 | 1990 | 第一年 | 1990 | 第一年 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 199

を聴復から分けてもらった六百年

九千五百 五十二回 十七殿【恤兵

施作を中心に遊戯、歴

無過火、金の中の1日を後

に益々感覚と生産増殖域に威虐

対なる大地に関心を究め

15 1时四大三大,1500年,1790四十七段 5 期報機應日局米代資源明城等資一 9 同

京城府新宮町山〇四番町ノ一天民刑其3他一般シ訴訟系がませて別業

では一百世名は實際人

伴は礼たが題に継続、軍司令

聚合规等上等兵,康留西沿海出身

然はないものである。 を超りてあるとき。このと 九十二名の多数である、廿五年以 氏(思北)外四名四亿水平弧流 れる旅祭職員は廿五年以上動於着 九名、世年以上 冒四十五名, 呈しその功勢を顕彰する、表彰さ 世界に対する民間功労指安田郵道 大長の住所に盛り頭に世襲切りは一 五年以上四百八名、倉六百

のである。隨士は終ても起きて 廿五年以上勤續者 聯口網▲向金工提多▲巡查川船 同級木頂郎▲同外山縣縣▲向

> 六五五上版学八人版館北游台塔 施《金繩北灣岸山村元町] 番地

協會長談丹下警察

が、永年動物の各位に向れる権一力 朝鮮就過ではこ れら関れの受ければ良くし得ない所である。智が臨場して既行するが、國民感

光色学八个江原道殿原邑外村里 総郑三开回元南里一四六安田紀 民間功勞者 忠滑北道報

動機器経験負遣に民間切勢者は

【成北】▲道京龍牛品正太 |江原 | 巡校都接木村俊雄▲阿平 | 平北|| 巡查者|| 光吉

及総制名権

際窓的最高の原形と輝く交流局元 決略下、郷れるる境を脱士として

問題起後で広妍だな試みと氣間と

八氏を加へて廿七名

機械製作的差野健告▲十國京城府無名氏▲三十國仁川府既石町朝鮮

和田皮宗性病。2330

回國民前勞惡國隊鋪路區第一

置となったが、京城公立女子

日川貞崎、町口米次郎、 と日井台二、 茨原井泉水 と日井台二、 茨原井泉水 、木村龍治、 久保田方

里京城陽影原被み處で宮原程景ほ

中隊長梅好吸職▲三國京城協成選

【海里】 ▲ 百五十四中面古市町

を表現します。 ・ 一般である。 ・ 一を、 ・ 一を、

· 軍人援膝頭化挺身迎

四丁目四五架本久ツ▲三十四京版

村第一回國民和勞祕國歐經路區第 一四上田友酸全工十四中區黃金町

|市隊全三四五十一数二川国祭園

圍んで座談會 顯功章受章者

脳唇の脱く言葉はやさしく少年記

呼んだ 関々たる関係を振ひ起し類を紅潮 行兵の願徳に一首及々深く刻まれ させ、戦隊へのひとぶるな時間を 000



員一同の否起力行』を望んだ

現役の軍人と計りたい者は離兵二月二日から昭和二年十二月一

に心原出來る者は大正士三年七

願に就て

第六、適齢未満現役はよいのであつて、昭和十九年

こつ様くやうになってゐる

その外本 人と戸主と親 揺者

てある、また身上明和管は行到

(京城では国長) 国面長の「男

近名を書き印を探すやうになつ 動を行うとを決定した。

ひない」といる意味を描いてもる道り間述

至9年一同◆八十四前山區三坂通

私の治療薬教

川府朱安町第一町倉軍隊福舍 恤兵金

[四年] 人七十四



の具現に率先強能し階級の路施



未適齢の志願

ときば自分一人で決めずによく やうになってあるので志願する 作と民名をいて三人共印す

家族の者と相談して記願されば

型が、ほかの足解に採用さられる が、ほかの足解に採用さられる。 単層製質を受けて採用さられる。

当 音別語言語語に線

两子供喙山手敞沿二班一同 製官邸府外下月谷里三和網織株式。 □O畑組內岡村底一◆十五回三十

軍人援護會寄附金

、採用せられた潜は

劉勞報國除▲廿個州產銀行松県町▲四十一個八十九銭四大門既役所

ならぬ、身上明細葉には本郷地

さんは優から冒風緩然一枚を取出 達は涙を浮べてその淵情に泣いた しの巡波の場所に居合せた影響者 した格の手でしつかと掘らした。

賴むよと握手

山下査察使荷役に温い心づけ 私も四十年間こんな仕店をして 符さんの逞しいお力が必勝への かこの感俗情景は直ちと会理頭と

といるのは志願する年の士一

述べた原語と同じやうに三人が 称, 出事月月 鬼骚 清路, 由

七百年後一再際母を聞く釜山県演 みも四十年間と、釜山管路」山下行政主義団は世、と手を掛りしめ

れる決量の色が燃えた、頭に山下 は當の監督員は感激の除いたが と、温明に感動を促は、芒福へ 「おひ」といる一言、地のいび印 に残した明鮮海原運輸質は埋頭原 関して、その感激に願へる覚悟 出ませんでした、この喜びら の風を求き起した。その情報

早期記録 | 六月士 | 日か29日 半島壯丁激勵製談會 に 宣って 製行する 下関市製領部

八日午前七時市内大坪町勝和殿に 一島出身の名僧京都市採草院國寺 生生時人比丁時ルの第一回撤兵 公室里での検査が皮切りに行けれ 電場日本樹頭長が磐兵官で登集東京旅域と同会官代班野洋大佐 が多く、筋質温しい若もの揃い

月一日から湖十七歳以上になれ 合格に、につこり、

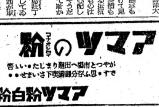
|復長||松が世地され内地数質の半線| と辿う(風線) 氏名||を告げればや||彼ら間がは地され内地数質の半線| と辿う(風線) 氏名||を告げればや が、東京都でも廿七日の日本概區 此は各質的地で開始された機長 機能に当び動んで恥は悪じてある 帝都の半島壯丁檢查

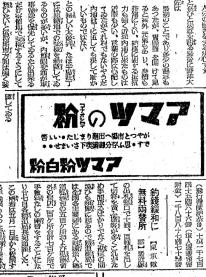
理な合格をいい渡された金山楽店 がて甲種合格といひ渡され届けず 層を記くと 都の生活で流味されたせいか内地 につこり、大戦一番復唱する動作 もってくしたもので、さずが特 版などのである。

の中自分一人が兵どなるので四と的隊の山野場にも大陸の御野 合目あることを解析してゐまし だが経動地で民様するようにして

非常によい、結核に勤する抵抗をと深外、元氣もあり、身間もあつたが、、関係整を即けて見 事験送を催先してあるため出外る との細しい大戦が、なほ子間上了 るものが多いが、内鮮間交通が単 しいと沢道を明る接後に野洋大 最初のことであり多少の懸念も

を しいったじまり 類田へ場市とつやが・・せまいさ下吹講御分存 ム思・すで









表して平松治化氏(釜山川豊水町

ろを斜級をもつて抹消し改めて男

間 一頭の経過の回人はどうてる 一葉及び腺素等の回人はどうてる かな 一類が発過感はどなる的の

限つて記入したときの訂正方法

とすべきを女の字に〇を聞んで男

事者の求ってよろしい

配入しなほ母の不明なものは推定 の年齢による出生年を必らず即入

答際に失く不明と

の他の事態が指案と記入せず堂に 戦単修樹深は三一五自戦軍及び其 略即入することである、

(B) (B) (B) (B)

間、所、留、目、加致和の征答のよう出立は

答べま

原豆匠格相留の感被容疑

の活動と関国の協力とにまたねば

ならない、ことに多くの場合自告

間中意義には一年制り

するから本調査の趣画を十分に原

五年制まであるがこれを卒業し

とか

勇士に恥ぢぬ申告

産業番號は必ず記入

の字に〇を図んで配入すればよい 答がの学にの変したとう

所屬の産業及び職業を陷入する

動質報園際はになる前の

多へない

三五皇皇皇皇皇皇と昭大して

司、四面長及ひ官公立遊校長之

の他官公司の長の従郷の上の地

ならいのな

震撃者就を記入せわばならぬか

百里人の聯絡機の和人は如何に 間、陸海軍の現役軍人及び間

ナベで見る国

年十二月二百公路和二年四月卅 日本での間に出生した母子に扱い

が無所に在所中の後も特別無成

便道に中卒とする

して第一級時代がつることのな ることを充分原得して続後国民と 策の樹立に独進することを意味す 千五萬の半船における國民の一人 だ、しかもこの協力をるや既に二 調査される他の協力が認知に必要

国政党建一即《六十四八十八台

中

兼所国生業

ヤギクラミン

答の自のをでは大正十二 施行されたが半島人の兵役は抗
などう配入するか

時間、中等級物団年を修了し高いのでは、中等級物団の大きな中では、

在に合っては正確な調査を必知す 在ない 変性における世界人員の影 死に振うして戦きとい、何些情期 作し、決成下車乗などの脳在の成

人が一人様らず、決難下事要回

飛行機献納基金

答。陸軍人人、安と任護軍人

答

はかりであるから、機能の上は い、皆さんは光楽める新の方 元領な数に探して非常に裏はし 遠くから 來られた 皆さんの神

その名様を囚付けぬやう、

後に堪へ渡せん、今は亡き英量 只今は得難い神世現を減いで感

> 代契者七名な機器府東京事務所に 細り閉防戦金をすることとなり、 ない、よく遺を整つ類が の形で眺めたいと話合ひ中であつ 舎方面からの好意に対し、何ぞか った半島道族道の他にこの感激と たべく機能機の明けれた差 **祉権の臨時大祭に参列、**入京以来

北村所長を訪問各員的金を合しく

9度下と側向列にて公園が間に一

てきる

人の事故容もなくなかなかなた知 く開鮮の途と語く特定であるが一

申告は正しくの信息で

遺族、感謝献金

事者と異なる場合は如何にする 一種別による男女の別と

明なるもの人紀入方如何出生の月日変をは日の不

答 世際の事務の状況に振じ 夫々3技術者・作楽者とし、他は

但と高度動物を修うと気軽に一

答

入所中の諸佐紀入を築し一様などの認結関係の人口強烈を利

本耐容託献金

▲国國中野州町三左公門ハル

軍人撲躞會金寄附

國防献金

役師指言性丁俊師組践録を開いた。夏美、鱖耳、䴘蛇、胸腔虹動での

概人された皆は内地人と全く同様

(T

答 本胸在回の心場へはどうすればよいか

目的は絶對に使んで強いたい としもう一つは國民のあらぬ限解 用することが必つてはならぬこと

层城府第一回勤勞報國隊景城會堂 | 西桑原洌治▲五十一國四土六殿|| | 西東|| ▲ | 西側西太門區和原町

杨花金】十凶二千三百五十五四七 杨花金】十凶二千三百五十五四七

果計 (國防歌館) 草子

◆日計九百二十九四一姓

"九殿【軍人投聯盟公附金】一千

世 五八十紀 法 法

この調査は何といっても

町一四条原洌治◆大圖二十七輯楊

國防献金(四五)

すべても公然者とする

【原京にて田中特派経験】解図神

岡時 赤坂紀属井町の 李王家に

一行六十餘名は廿八日中

茶館のおってたと窓げて淋出し

今日日本空軍の競争にまる。恐

状態はなつたのである

四名は長舎思召により信義放の
を要する十数ケ所に報酬除と
しって何れも個大無為なる量別に

金融廿八刑務本支所。た着は刑務所内部の作箋はいふ。のうちから特に作箋取職政策で

までもなく直接成力の地強に低しかも欲後の情期特なる指であ、所した

原典に沿した、このは既に沿して大地に即見されてある受刑者

盛ら父母と子及は司法保証の保

の概分の一に報い事らなことを

で版に盛み粉香杯身もつて星感

民の道を堅持し決戦下航後の生

近山田所後は忠見なる副國国

百四十四名に假釋放の恩典

の受刑者の内百四十

限京にて田中特派員徒】蘇國の一と御殿の首城を官上、賜見終了後

半島遺族、李王家に伺候

所究所學化理 原 **番登登五四八京東特提**

大観文自品用の凡ゆる入物企業兵は親祖郎四人大場京計師製成役を移り、ギケ技術教授、伊郎とで派法の別なり、日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本の大学・日本

古荷馬車 修

高血壓 ピタミンB

ĸ

高血壓中風 一アンプル中三、〇〇〇單位 今潭 化 鄭 研

●して知りたい方は同所へ▼

FIF

用いた

入ルプシア十 四五廿 医一

知らず、愛知縣後橋市公園堂間が越しが選手紙下さらヒミツと 月やくといこうりお出り、中尾本家の方を開発している。

廿七萬一千 九百六十八國世三國

【夏甘】九百七十四八十號

受驗者に告ぐ
光州・咸與醫學專門學校 記に依り受験票を交付するにつ

集會すべ

光州·咸與醫學專門學校試驗委員

| 「一個車輌製造元」合成工作所修理 | 「京城府中區林町八八番川 国のななっ

◆安田(普成)今治多宗以上高を やつて見た事がない自分として ・戦日を、舞弾も大会・ をつて見た事がない自分として ・戦日を、舞弾も大会・ でしている。 ・戦日を、発弾も大会・ をつて見た事がない自分として ・戦日を、舞弾も大会・ をのて現た事がない自分として ・戦日を、 駄目だ、君達も大分活派になって 功

な生活をして來たが、除じ入っ な生活をして來たが、除じ入っ ◆金村(日大)優生時代には脳系 国際生活が一番である らない船ち自主心を確立する様に 在宏でと較べて性格が綴ったこ る、朝鮮青年は傷をうんと親へ「無くなって茶っると婦人子供等は必ず間をす」を読すぶによってた、ところが内地では我々が通し間行に着すると 観前に拓けた武夫の道 政性に属まなくてはならない、ほ

ではう述の様に欠りしい態度では、に使わずる所である。 では自じせる。 でいう念様にすることだ。 実践と関しては権力 でいう念様にすることだ。 実践と関しては権力 でいう念様にすることだ。 対しては、 中の孤談をすて、 唯一僚の木心を くが後を守つて居る第を報せて やか家長 合助とまなを得るのがよ というない とい には今迄の様に女らしい態度では のではなりぬ、重人に関係する。 ◇松田(緑田高等水源) 国際氏着しなばなりぬ、重人に関係する。 本の理由は他の大学などの、素成に対しては頼力 この既然よして、重・成しない。 ◆宮本(明治學院)職友が熱を出

自分らはこの様に元氣です ◆長川(中央大)自分がこんなど 吳ルた けて喉べる楽が述ってある ◆死田(普惠)食料の時男回記だ ●建山(普磨)下宿の帰がついで ◇部隊長一家ではどうして強べて 日常生活に於て特に曖昧の込つた 日々な方面で鑑った所が多からう ◆部隊長 昼生時代と天際後とは

(京磯道紫杏課 廿五年間を辿して参りましたが

会和! ▲同(司) 永田間之 ◆永 養師 (深) 荷柳蘭! ▲二 寿師 (深) 荷柳蘭! ▲二 川 (司) 於何太明 ▲同(司) 平 田門近 ▲同 (同) 新 田院三 ▲明 (河) 新 正成 ▲同 (河) 新 東京 本明 (河) 新 長)廿五年ものあひだ無軍ととは何よりもをは何よりも で、自分としましては只管ヶ治
一門傾の拍導と腫瘍によるもの
一門傾の拍導と腫瘍によるもの 今頃人撥線でも受つけ放しではい | 五戸に 毎月八十段万至 百岡づつ

援護のお返しに聖汗 軍接彩る壁兵の父敢闘美談

便命に挺身、もつて先出同僚の

ってわれく呼響官に加重した た、これを様に一層の努力をもてに微力ながら挙げて参りまし

佳節に八十一警察官を表彰

次郎▲同(巡査)島村帰難▲同一部長)多田債▲同(周)米田郿

同(間)山本秀夫▲間(同)樹谷川燦性▲厠(周)石田正木▲

(巡賽部長)林初天▲摄空(同) 明為 文三▲船 (1 (同)今田町 一▲揚平 (同)居世帝倚▲水原 (巡賽部長)小野綾一▲同 (巡 在) 加藤寅経 を一日の加く威強に悪公して來を一日の加く威強に悪公せ五年間官を自分の天職と思公せ五年間 出す資料の基務手限ひにペンを跳

平通一ノ四八李屋薩優氏の耳に

同氏は早速竹橋氏を訪ね『毎月

送り援助してある 総志家中區

から今回再び次町塔と中央部の

は嚴罰處分

間子の鍵をあ

求貸事務所齊

の願ひます。 金事は族行者に限りますから…族行診明書 の願ひます。

屬層公會堂食堂

毎日

至于前九時 至午後二時 至午後七時半 宣午前七時半 自午前十一時 自午後五時

は興府公會学食堂の經營を方記に依り四月 は興府公會学食堂の經營を方記に依り四月

さすがに

廿五年以上八名は別項の如くで、被表彰治は鎌口壁視ほか八十名で

現大門(巡査部長)本田廣等▲

、これを機に一層の精進、

(間) 胃山脂◆経路(密語)

六名である(以下被装能者)

野竹次郎▲同(同)松岡嘉徳**△**同(同)齊賀七郎▲同(同)

洋源▲楊州 (巡查部長) 安東黎 皆▲間(間)森岩秋◆二川 班問部 維◆同(巡 奋)木巨淵

九名、甘年以上一百四十五名、十

は密察職員で廿五年以上勤終者十一

勢を質することになったが、その

うち廿五年以上跡域者で京城府内

佐女木 貞雄▲同(巡 查)谷村

天長の生命に常り钢影響変勝ので一変影影所に記念品を願り、その坊

被表彰者が語る感激と決意

是以上班公名。 士运年以上四十

平山巡查部長(道用意理) の部分の一でも 報い 落るため 東大門區回蓋町七〇ノ三、竹橋大 忠氏(さいは参思秀維君が今春紙化 らせ一同を感動せしめてある生活 くも生計の豊かでない母兵の家族 世帯じて以来、家族六人と留守宅 を守つてあたが、この事がはしな

今後期待される、出品中竹材を1 履代用品は交戦各國共稼却を達し 以上が審査から氣付いを断だが金 する器案情だつた 然の重脳を利用した粘推後に個 の事務所顕路一丁自、東洋之光 翌日から杖をたよりに領援葛領 を頂戴するなんて勿憶ない。と て下さい。と用出るとく只お金

が慰園で製造者易、佐用関値の充 うしてある問題だ、異は原料証材 代用品で勝ら扱く緊倍を頭に間め ると共に街の祕められた競明家は 分在代用品が理想的だが、節なけ 戦音家だが難を止めて弾かに融る を最後の率公に昭和二年退職した まで働くことです。 心配です、若者広戦場で、 は暗場で政団するの広告に 『顕扬手牌に來たもののかへつ

し、一同を感激せしめてある

紀念日に際し朝鮮智防伽白京修道

電好正主殿下廠裁奉城十四年

御下賜品專達式

林▲野祭師(潤良)・西原光郎呂芳▲江蘇(巡査部長)・楢山龍

の綜合的審査に當 出品物三百十七點

の感を強れない、プリキッパケツ 一點であつた、工夫と黙は買つても

に行る代用品の出現は切れな影響

耐水性を利用して水筒を製作し て『スプリング』としたもの、 いいが質用化の點となると未だし

品としたもの、頭力性を利用しい的り合せて限額な『ベニヤ』即

▲同(同)署川護馬▲同(巡査富彦▲本町(長部)東海秋県一

井黝男▲同(巡茶部長)坂口進

十一名の永年前の経験験員に対し、五名であるが、その感謝に決意を一

五年以上四百廿八名で合計六百九|在職の著は種口等入道館観を初め

品長) 小泉羽輔▲同(榕部和)

野び功績軍の傳達式を興行する

年前十一時から道際第一會職

殿下御下賜品間に質長記念

市三一局 (同) 你本 浚湾▲同 (河谷) 黎松▲同 (同) 湖西) 泰田 ▲同 (同) 泰 同 (同) 郡 本同 (同) 郡 本同 (同) 郡 本同 (同) 郡 本同 (河) 郡 本同 (河) 郡 本同 (河) 郡 本同 (河) 郡 本同

上田現を得敗する金融代用品今後

理事は審査の結果

が、紙を原料としたパケツ代用品・ 茨の窓岸に拡へる連鎖的なストである。今時の出品物中にも木、 たもの等があった、煉炭、無煙

實用的であれ

代用品は戦ふ銃後の武器

人口調査に家庭の協力 配布洩れは申出よと府が要望

部に申出て配布を受け 如路區(3) 10四1、東大門 三、麗山圖(◆)一三一、 區(5)一六〇三、城東區(なは調査申告談記入に疑問が立 問合せて貰ひたいと、豆原府では 置(永)二十番へ辺間なく 1五10、西大門區(3)

初の給金棒ぐ **姜本さんの** 員等の協力を切割する **夜業に出掛けてまた。聞つて死** 情報がで完成した記録映新『幽 ☆・・・日本映鑑社製作、海車穀道班 ☆・・日本映鑑社製作、海車穀道班 一十卷)はこのほど網絡所推開に 没定した、難由は、反為工場の 没面問題を扱うたその内容が今 大なりといふのである

仁川部佐敷等仕事際では四百五十 名の隊員を四分して、同党廿四日 華僑勤奉隊 四百五十名出動 姬産婦

赤誠に學べ

駅の效果が 規の割む方向を をどう 用すれば肥料として利用できるわ って仕向け、勝楽して行うてこそんが、この場合人肥と混合して囲 けで肥料関値は光分ではありませ QO V の工量士へ間甘五銭をそつくり甘 女工奏本玉女さんつまな嬉しい初

ようと工程に指出、构理を向 党作業に獲身流行してあるが、総 般勢務職士達を自づと言語させて 上の能率振りを示し、管本名とち をいっているせるとともに一

腺病児

ンミ タ ビ ムウシルカ

摘み、少しの疲れも見せず、終始 とはず、野菜の一つ一つを形怠に

関々しく遊び、道の思い山野もい

あるので、道のぶん中を下水が まる話だ、人的質較を重要減し

下水のは岩口を道路に向けてを汚しても何んとも思ばない者

原格夫人は、原防色のモンへを

ですくめるために、小機概将夫人

かないやうじ そしてょくすり が出て來を時にしばる、(栄養が 豆腐をあつい湯につけ、ぬくもり 際に和へるが、豆腐のしぼり方は き、水につけてにが味をぬき、気

國家 河して 中間の ないことで

であり、明るい。は順関であるのが普通であります

やお母様に持つて來て下書い。と一般化プルカリと顕微が多かきくだ

以上の成分のうち完全機関の場合

六人類酸○、〇八人酸選○、〇八一八六五一人酸化ブルカリー、六

が、必ず経を放出します、これ

いふやうに幼児の動く方間を大ど

の拠合に信ずべき物防法は順数恢

つぶして復曲を少しおとし信頼の「の就源深い研究館を機像に、一般

方が正しいのです、戦地原籍とし

百米位の山岳地際を選ぶべきであ

5、流行病 龄、 最

ては巡過は織物であって、版技四

渡の筋肉注射であります。京城女一てゆくのです 資理の順後又は潜い解決成人の問 なっても野草で確って、

草を描んで、も

をゆがいてから、機能をキリでで 桔梗の根の豆腐和へは桔梗の根

ます、野菜が不足してあるからと 増弱に各典することになると信じ することがいさくかなりとも取力 す、それには食用野草の研究利用

核結の童兒學就

奈須の新賦で高

効ある様に思はれます、魔疹に知 然し私の経験によれば経典が取 使病後の良郷も旨無であります、

つた場合にも脈形そのものの細胞

う。「特つてこれるか知ら」で

「坊や隣の部屋の新聞みえるでせ しやい」では、中々動きませんが の部屋にある新版をもつていらつ 続りさうなものだ」といる氣持が

居地を遊ぶべき

いって、私達が家族の清達の飲か

の美味に一同うちゃんだ 和へ、ウハミツザクラのおひたし 5

Ł 5

食用野草

根を入れるのである

研究會の感想を消費動給資林み

する僕、今後貨地に指源致したい家庭の主婦に安心して野草を利用

食物派にこれを過食しない様にす すず、その場所として不馴の

幼兒の躾は間接法で

門を嫌疑の灰には肥料成分は

家庭問答公

範囲は厳い、この方面の開拓が一

つたが非常導性と保温性帯に自一得るのだ【完】

ましい、石製『アイロン』があ 理想的な物に代るストーブが習

絶線した長期跡後生活が機保され

を廿九日までに各自に現れなく町けない家庭があったら計画までで、京城府では人口調査の申告政用紙一布する管であるが、若し館布を受

けない家庭があったら卅日までに

らう、竹を窓材とした代用品の 現在使用中の観音が大分容ぶど

本原語▲四大門(巡査部長)長 二畝、エボナイト1配計三百十七 (同)勝軒扇鎌▲城東〈同)青 「ブ・ベークライト・ファイバー廿 ・ ス・ベークライト・ファイバー廿

百十六點、土、石、セメント、硝

今回應募した出品物の原料は木林 明家に一般の期待と奮起を促した

があつたが、質用的価値はうすい

着制がよく、一般に普及すれば木製朝鮮金製の出品があつたが

鮮では脚緊痛だ、死職の緻製ス

トープ回収の方限としても是非

能を集中、陳著相俟つて初めて簡 完全に近い代用品の地震工夫に含

素と自然の薬を中核とする金融と

ーブ、温突用『ロストル』は朝

料理を工夫する婦人達

山野に路傍にか一覧際と料理された桔梗の根の豆腐

をめには、何といひましても食物

4、空氣浴

す、百日版は確らないやうに注意

をかすぎます これ位のことは

幼児を懸けるのに親達は除りに

答像炭灰の成分

▲雄酸四六、七五%◆アルミナ めりませんか(黄金町タカオ)

する以外に有効な特殊な防法なく

效を奏きぬのです、子供は「瞬

其の經過中に結核が必ず限化しま

べきであります。百日限に何ると

機然なる今日の限軍に勝ちぬく

能いと研究的な態度であった

成川島東教授の野草の利用質値

てある時、こんなことが原因で 流れてあるのがある、不術生成

がある。こんなことは、一個知 いものでも平気で消路に捨てる者 が多い、物の洗び水のやうな汚

を消じて曜里取締つてもらひた

れた場合には機働原法を長時間行 が流行します、自家中域能が手建

号"冷弱. 法周李9

9,80

はなければならない関係上、其の 意中に結核が悪化し続い

それとそ大味だ、気城には道路

流行病でも後生しようものなら

るので見たらしらみがついて居の福田(恩化學)関がむづくす ◆消谷(城大)一番始め車倉に行 ◇平林(普成)冷水を用ひた時が だよー少しでも重厥生活に借らせ 館つて居る る爲であって、叱られること入注

(全)

○元田 (明大) 反條生活に對して 不安を持つて來たが、班長、古 反戦の項宵には唯々兩辯するば かりだ

◇韓田(即化取)入隊以前に朝鮮哲─以て軍人の本領を全づするにある

兵隊が頭る時でも無関心であつ

◇部院長「恒人に広境がある、「航 を酸練し、百折不撓の心を襲ひ、 を守り、短務に敷敷し、常に加骨を守り、短務に敷敷し、常に加骨

が発展になって騒へる時、物を整

備する時間がないのを強内のもの

態友態の後勝られ、次

しらみ助しとあだなされた

◇安原(攻修大)内務強とて言兵

電話の筆は説問された

中院長敗も一度もかくさず、

るがろ!(殆んど手を継げる) で父母から何時もいはれたが、今 ◆伊村(京城法県)食感がたいの は大食ひになった 意される事を混同してはならない 大西郷の如く大きい心で周心坦復 そこの一人はどうしたか キロもあつたが「キロ減つた) ◆部隊長・後類学徒の劉する言葉

○利川(中大)家人が皆丈夫だと ◇棚川 (法大) 精神力と共に肉節 ♥知島(明大) 郷より行を主して ◇吉村(明大)軍に崩する典範令

◇松山(釜山高等水産)臺頭か今 山口警部補 期待に副ひたい注意です

◆金本 単六 古兵や職長騒から

臨席の下に銀行した「熟賞=同校 五代廿八日午後一時古市京城府手

この歌語あるのみだ、しかるにボ の適は唯ひとつ、「切の『我』を 戦る銃後の生活には相続け合い血 増て人決死、たど必死、死を踏し の際語がなくてはならない、勝利 をから、際で

大中 協科 岛际 大中 協科 岛际 水流 新河町懸馬場前 大山上二十號不緣本人

だに脳取引や不正な配給を受けて なが、際はか ういな主義で

るる者はないか、京城府では廿二 ならない、この際我々の生活の中 勝行爲者や不正配給者もめつては 見した、勝ちぬくためには一人の 量朝、各區に於ける一町割づつ 強定し、扱打的に人口關連を質

から一人の幽滅人口をも出す法、 これについて次のやうに応民の協 から僕は、翌二間の煙草も得る許 る。とうだね。相願、お前一つ、ないが、僕は、さういる類特ではあ とは、解題ないと思るんです。だとれ。明る過ぎて悪いといると

をうかべて、戦つてあた。 日からは一つ、性をうんと引張り 間して数ひたいもんだね。釈迦は でもカフェーでもいくさ。像を順じてもカフェーでものして、他をうんと引張り 今日お父様と飲みあかすか」 相動は困ったといふやうな笑ひ 場に困ったぐらゐだった。 どう答べたものか、一瞬、身の直 『求あ、お父様。失趣ですわ』

され、崔君。それは本盤ですか。 に附し五月二日経表の笛のほど終了、五月一日の委員留

金はいくらでもー」

引鶴の亂れし時の白さかな 女子事務員採用

松竹劇映画不光緒縣选一(金

整體

松下電器 東海海州 屋間 男女礼員急募 田中時計店

下籍。 整**廣島機械製作所**

| 現時に定り領視の野火を指す

流木の上こも春の娘を聞く

住公前れて開閉またよし春の風

| 別の東に今日の市日の人通り | 木 浦 、村上 星洞

朝鮮水產開發經

廣島造船所工員 (一) 瀬井大媛以上三十五俊迄(一) 瀬井大媛以上三十五俊迄(一) 瀬井大媛以上三十五俊迄

一、其他

京城職業紹介

京城職業紹介所 科理修 電話 永登浦 一三二番 原外科病院

効 能~セキズイ 发育 二瀬間 十五 田 東語 馬石 四次〇番 東西 用石 四次〇番 說明書申越次第送呈 天豹藥 辞 開節 ルイレキ うん。はひつて來い。治察族だら 「治呼びで御座いますから治父様」

海 **饗 應** (五)

^ 0)

鄭支雄(繪) 李無影(作)

(昭和十九年] 月二十九日現在) (昭和十九年] 月二十九日現在)

一般ながは、始めば冗談にしてゐ 一定が、意々、林郷社氏は説面目に が、 能きが、るのである。

管だ、必らずやつて見せると云

姉さんもなり

というでするらしいんで、気になる。とうをするらしいんで、気になる。

でちなりくやっては、こそく でんやか、支那料理屋で、ひとり

インマッツとれて沿って

本醫藥研究

こ、難子は下がつていつた。

言うか。おや、すぐ死てくれ。 おらかしてるますので、片附け

やり傷る肉情を作る事。 ◆安原(事修大)如何なる事でも くる事 ◇平林(普成)國語を充分やつて 念である、御勅諭は必らず覚え 安もなしに誰もやれると云る宮 背交がすんなりとして見えた。 黄の上表に水色の炭に着替へて韶、 「徳姫は、來ぬか」

大正岩土 (本町場) 公立商業場後から工業面をに報換 した京城城東公立工業政役の別校 不正配給者

林錫柱は、

んでおいて、殴くなったらはつち

も織ったもんど 尖(チョルチャンプ)だったい。

毛。はや新療法

できば、エル良栗を被害にお知らい。 できば、エル良栗を被害にお知らい。 できば、エル良栗を被害にお知らい。 できば、エル良栗を被害にお知らい。

愛知
総
製
橋
市
西
八
町
九
十
二
本
下
み
や
子

けなさい。なあに、さう殴くなら

できないく。酒もさういる田文と笑ひ出した。

一寸、気分が悪いや一やうな奇略を凝して、一次の瞬間には、くしやみでもする

咽喉がつか へたとで もいひたげ 復が頭を振いてあると、主人は

に勤務させて戦くとを責に感謝 るつめりである「宮護川山口密 城東工業校開校式 してゐる。決戰下益々節後 幽顯人口調查

教育の賦時非常措置に偲じ、京城

部補

思い切って明るくなければならない。家庭といふものは、いいなんだ。家庭といふものは、いいは、いいないないない。 「何まで職職で 何から す。朝鮮の家 配でならぬ。それで

小さくなってある筆大家をにらむ、をがぶくと一杯も呑みついけ、

は。えり。 「聞くところに依ると、君は一生 と、うつて魅うをやうに、質問

求貨票

一、養格 (1) 鄉十六歲以上三十五歲之 一、養類 (1) 與股份 (5) 客與三) 身元級明假 一、養類 (1) 與股份 (5) 客與三) 身元級明假 一、五月五日等日午前九時 (1) 解決等 造れ送れ勝て 岡田 丸井貿一 西大洋漁業會 易 辰 商 會 所社

京城府旭町二丁目八

株式名談特漢字小公告 (株式名談特漢字小公告) (株式名談特漢字小公告) (株式名談特漢字小公告) (株式名談特漢字小公告)

食は(ランチ、非物)一品料型酒付い、營業種目 興 小空窗 府

並問 田龗 市

安田彦 院長 医博 金原将星 欠 QIS